

京都発!「子育て×働く」のリアルを追求する、キャリア教育探求プロジェクト ～ワーク&ライフ・インターン～

1 目的・概要

本プロジェクトでは、個人が自分らしく生きられる社会の実現を目指して活動をしてきました。家庭と仕事の両立に対して全く関心が無い学生、両立に対して不安に思う学生等あらゆる学生に対して、多様な生き方、働き方を知ってもらうこと、そのことで今後の日本社会において、多様な価値観を受け入れられる人材を増やし、あらゆる人が各々の価値観を理解し、認め合うことで個人が自分らしい生き方をできる社会の実現を目指しています。



一年を通して、春学期は履修生自身がワークライフバランスに関する知識を身につけるために、ワーク&ライフ・インターン（子育て体験実習）とワークライフバランスを実現されている社会人からのヒアリングを行いました。

秋学期には学んだことを外へ発信しました。一つ目は、両立経験のある150人の社会人の方と421人の学生に対してアンケートを実施し、比較形式で冊子に掲載することで、想像と現実の世界のギャップを知ってもらうことを目的として活動しました。二つ目が講演会です。実際に仕事と家庭の両立の最前線で活躍されている方に登壇していただき、学生向けに講演会を開催しました。

この講演会により、より多くの学生が「自分らしく生きられる」ような、ライフの部分を考慮したキャリア形成を後押しし、また、多様な価値観を知った学生を排出することで、性別に関わらない多様な生き方が、受け入れられる社会環境づくりのきっかけとなるよう活動を行いました。

Annual Schedule

春学期

- | | | |
|-------|----|-------------------------------|
| 2019年 | 4月 | 事前学習（子育て、両立、自分の将来のビジョンについて） |
| | 5月 | ワークライフインターンのペア決め、質問事項や目的の整理 |
| | 6月 | ワークライフインターン実施、社会人からのヒアリング（4名） |
| | 7月 | 春学期成果報告会および準備 |

秋学期

- | | | |
|-------|--------|--|
| 2019年 | 8月 | 春学期の振り返り、目的の再確認 |
| | 9～10月 | ワークライフインターン考案者からのヒアリング
イクメンの方からのヒアリング（2名） |
| | 11～12月 | 冊子の準備、作成、講演会の準備 |
| 2020年 | 1月 | 講演会実施、最終成果報告会および準備 |

2 成果達成度

春学期の活動について



6月下旬から7月上旬にかけて、私たち履修生は、2人1組で、実際にお仕事と育児を両立されている方のご家庭に伺って、子育て体験学習（ワーク＆ライフ・インターン）をさせていただきました。ご家庭で、一緒に夕食の準備をしたり、お子さんと遊んだりしながら、子育てとお仕事の両立に関するリアルなお話をお聞かせいただくことができました。

また、実際に、ご自身のワークもライフも充実させながら、様々な分野でご活躍中の方々をゲストスピーカーとして授業にお招きし、ヒアリングさせていただきました。

私たちは、この授業を履修するまでは、子育てと仕事の両立に関して、明確なイメージができておらず、将来について、漠然とした不安を感じることも多かったのですが、授業内での、子育て体験学習や、ゲストスピーカーのご講演を通して、ワークもライフも充実させながら、自分らしく輝いておられる大人の方々の多様な価値観に触れることができ、将来についての視野を広げることができました。



秋学期の活動について

秋学期には、春学期に私たちが学んだことを、より多くの学生に伝えることで、将来、ワークもライフも充実させながら自分らしく輝くための、将来の選択肢の幅を広げてもらうことを主な目的として、活動を行いました。

10月下旬から12月上旬にかけて、自分たちが学んだことを、社会に届けるための冊子を作成しました。冊子を作るにあたり、まずは、子育てと仕事の両立に関して、世間の人々がどのようなイメージを持っているのか、現状を知る必要があると感じ、これから社会に出る大学生・大学院生と、子育てとお仕事を両立されたご経験のある大人の方々を対象に、それぞれ、アンケートを実施しました。アンケート調査の結果で、およそ8割の学生が、「将来、仕事と育児を両立したい」と回答している一方で、8割以上の学生が、「仕事と育児の両立に不安がある」と回答していることが分かりました。このような、将来の育児と仕事に関する不安を持った学生に、冊子を通して、私たちの学びを知ってもらうことの重要性を改めて感じました。

また、1月上旬には、かつて大手総合商社にお勤めで、関連会社社長を務められたご経験を持ちながらも、働きながら育児や地域活動に積極的に取り組み、「元祖イクボス」としてメディア等にも取り上げられた方を、講師としてお迎えし、同志社大学の学生や一般の方を対象にした講演会を開催しました。ご自身のさまざまなご経験から、人生を自分らしく楽しむための非常に有意義なお話をお聞かせいただき、講演会は盛況のうちに終了しました。



作成した冊子

3 プロジェクトを通じて

ワーク&ライフ・インターンで、実際にご家庭に行かせていただいた時に感じた実体験を軸にして、様々な方向から課題に向き合った一年でした。

春学期の経験を通して得たものを、いかにして社会に役立たせていくかについて、議論を重ねた結果、当初考えていた企業へのプレゼンテーションとは違うものになりました。結果、冊子を手にとってくださった方々や講演会にきてくださった方々からたくさんの興味深い意見をいただくことができ、有意義なものになりました。

冊子作成に関しても、講演会で配布するためにはこの日までに入稿完了させなければならないなど、期限に追われ慌ただしい時期もありました。ですが、一つの目的に向かって皆で力を合わせて動き、得られた達成感は一一人の財産になりました。私たちの活動を通して出来上がった冊子や講演会が、個人が自分らしく生きられる社会の実現に少しでも寄与できたら幸いです。



編集後記

この一年で出会えた、自分の生き方に自信を持ち前を向いておられる方々との出会いは、私たちにとってかけがえのないものになりました。将来について、考えることは、時に不安を伴います。ですが、たくさんの方の人生に対する向き合い方をお聞きすることができた今、多様な選択肢が私たちの中に生まれました。また、冊子や講演会の企画立案から実施を通して大変なこともありましたが、8人全員の持ち味を生かして作り上げることができました。戒先生、川口先生をはじめ、多くの方々のお力添えをいただき、充実した活動を行うことができました。本プロジェクトに関わってくださった皆様に、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

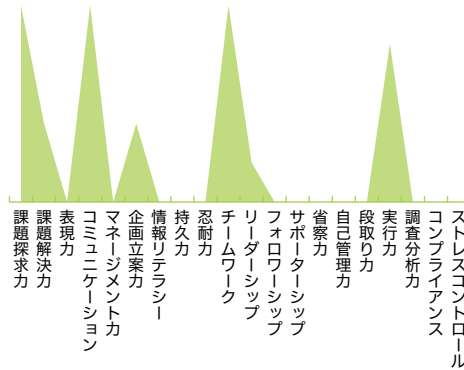
プロジェクトメンバー

竹内 沙弥(社会3) 石田 叶愛(法3) 芳崎 美祐(経済3) 有道 沙彩(商4) 児島 巴奈絵(商3)
邑川 真衣香(商2) 寺崎 純奈(商2) 西田 芽生(グローバル地域文化3)

プロジェクト活動 アンケート集計結果

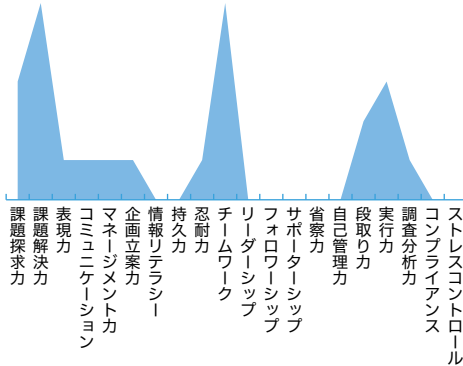
授業開始時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

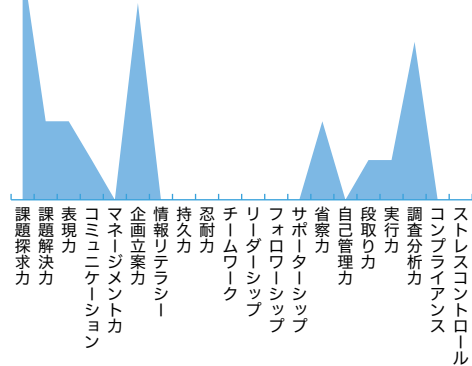


春学期終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい

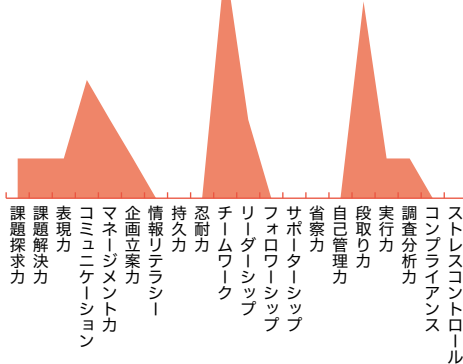


Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい



授業終了時

Q1 チームとしてのプロジェクト活動に「必要と思われる要素」を選んで下さい



Q2 プロジェクト活動を通して実際にあなたが「身についたと思う要素」を選んで下さい

